

具志川市史編集資料11

一般疎開

安村静日記

— 字天願から宮崎へ —

具志川市教育委員会
教育部市史編さん室

刊行にあたって

市民の皆様には『一般疎開 安村静日記―字天願から宮崎へ―』をお届けします。

ご承知のように、『具志川市史』第五巻「戦争編」の編集作業は平成三年（一九九一）にスタートいたしました。

戦争編は、「近年、市町村史（誌）において戦争体験記録集の刊行が進んでおり、沖縄戦の全貌が分かってきたが、本市についてはまだ戦争の実態や収容所時代のことなどが調査されてなく、さらに戦争体験者の高齢化に伴い、戦争体験が語り継がれないまま埋もれていくことが危惧されており、当時の具志川の人々の戦争体験を永久に忘れることがないよう記録にとどめ、後世に語り継いでいくとともに、戦後いち早く復興していく具志川の力強い一面にも焦点をあて、未来に活力の拠り所となるように記録に残していきたい。」との主旨のもと、一、沖縄戦を広い視野からとらえ直す、二、本市の人々にとつての戦争の実態を明らかにする、三、収容所から戦後復興期までの様相を明らかにする、四、証言記録をより確実なものに、五、市民参加による、戦争体験の語り継ぎ、という編集方針に基づき、現在着々と編集作業が進められております。

お陰をもちましてこれまで、市民をはじめ県内外の皆様から、貴重な資料の提供や聞き取り調査などで実に多大なご協力をいただいております、深く感謝申し上げます。

この度も安村静様から疎開当時の日記をお寄せいただき、本書を刊行することが出来ました。日記を提供していただきました静様、当時の追想を手記にまとめてくださいましたご子息の毅様に厚く御礼を申し上げます。

編集に際し、宮崎県高原町教育委員会教育長の正入木久男様には関係資料のご提供を、疎開当時の後川内国民学校一年担当の児玉和子様には、思い出を綴っていただき、専門委員の石原昌家先生には解説の玉稿をいただきました。心から感謝申し上げます。

本書が一般疎開の貴重な資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

皆様には今後とも、具志川市史編さん事業にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

平成十年三月

具志川市史編さん室

目次

グラビア

刊行にあたって

目次

凡例

一般疎開安村静日記……………1

(毅の回想手記)

日記以後の生活……………57

児玉和子先生からの手紙……………67

解説……………石原昌家……………71

疎開年表

編集後記